

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和 7 年 10 月分）

### 【製造業】

- 8 月の鉱工業生産指数は前月比▲3.7%となった。ヒアリングでは、自動車メーカーへの出荷以外にも市販製品の売れ行きが好調との声や中国向けの出荷について、スポットで I T 関連部品の受注があり、一時的に好転したとの声が聞かれる一方で、EV が停滞しているため、ハイブリッドや従来型車種の生産などに向けて経営資源を集中しなければいけないとの声が聞かれた。
- 地場産業は、8 月の鉱工業生産指数は木材・木製品、家具、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、新商品の包丁が好調であり、昨年と比較して売上は 1 割程度上昇しているとの声が聞かれる一方で、建築資材の高騰によりタイルの発注が減少しており、景況感は低調が続いているとの声や仕入れ先のメーカーの倒産や廃業が多く、廃盤の商品の代わりの品を探すのに苦労しているとの声が聞かれた。

### 【設備投資】

- 設備投資は、9 月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比 10.0% 増加となった。ヒアリングでは、観光客のニーズに応えるため、既存の設備を新しいものに入れ替えるなど、宿泊業で活発に行われているとの声が聞かれた。

### 【個人消費】

- 個人消費は、9 月の販売額は、全体で前年同月比 1.9% 増加となった。ヒアリングでは、シネコンの好調継続に加えて、各販促施策やイベントの連続実施により売上・客数共に大幅伸長との声が聞かれる一方で、季節商品をこの秋に値上げしたが、やはり値上げしたものが大きく売上を落とす傾向が顕著に出たため、今後の値上げがしにくい雰囲気との声が聞かれた。

### 【観光】

- 宿泊者数は、前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、コロナ前の約 9 割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。

### 【資金繰り】

- 9 月の制度融資実績は金額で 14 ヶ月連続で減少となった。金利上昇局面であり、今後も上昇していくことは変わらず、あとは引き上げのタイミングの問題のため、引き続き政策金利の動向を注視していくとの声が聞かれた。

### 【雇用】

- 9 月の有効求人倍率は 1.46 倍と前月比 0.02 ポイント上昇となった。ヒアリングでは、採用面については、27 年卒の新卒採用について、そろそろ準備をしなければいけない時期であるものの、コストをかけても新卒者が採れるかどうか分からぬいため、対応に迷っているとの声が聞かれた。待遇面については、今年の最低賃金改定については現状の賃金体系でクリアできるため特に問題はないが、このままのペースで上がり続けると早々に限界が来るとの声が聞かれた。

### 【景気動向】

8 月の景気動向指数（一致指数）は前月比 0.3 ポイント上昇、9 月の中小企業の景況感は同 10.0 ポイント上昇となった。